らいびやうのそもそも

御免 養血散 一名 便毒分

抑(そも)此(この)家(いへ)の妙方(めうほう)と云(いふ)は、代々(だい〳〵)連綿(れんめん)として、癘病(らいびやう)或(あるひ)は陰湯(いんとう)と二種(にしゆ)有(あり)たるを、如(かく)まで或(あるひ)は眉鬢(びびん)の抜(ぬけ)たるも、家伝(かでん)の一剤(いちざい)を用(もち)ひ、或(あるひ)は潜(ひそか)に服(ふく)するに、幾年(いくとせ)の癘病(らいびやう)忽(たちまち)に治(ぢ)し、或(あるひ)は陰湯(いんとう)の病(やまひ)、或(あるひ)は便毒(べんどく)の病(やまひ)、或(あるひ)は血風(けつぷう)の病(やまひ)、或(あるひ)は瘡毒(そうどく)の病(やまひ)、或(あるひ)は腫物(しゆもつ)の病(やまひ)、或(あるひ)は疥癬(かいせん)の病(やまひ)、或(あるひ)は疳積(かんしやく)の病(やまひ)、或(あるひ)は血道(ちのみち)の病(やまひ)、或(あるひ)は血症(けつしやう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血熱(けつねつ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血虚(けつきよ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血閉(けつぺい)の病(やまひ)、或(あるひ)は血枯(けつこ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血漏(けつろう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血崩(けつほう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血淋(けつりん)の病(やまひ)、或(あるひ)は血痔(けつぢ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血労(けつらう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血気(けつき)の病(やまひ)、或(あるひ)は血脱(けつだつ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血痛(けつつう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血瘕(けつか)の病(やまひ)、或(あるひ)は血塊(けつかい)の病(やまひ)、或(あるひ)は血積(けつしやく)の病(やまひ)、或(あるひ)は血癖(けつへき)の病(やまひ)、或(あるひ)は血痰(けつたん)の病(やまひ)、或(あるひ)は血瘀(けつおう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血滞(けつたい)の病(やまひ)、或(あるひ)は血閉(けつぺい)の病(やまひ)、或(あるひ)は血枯(けつこ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血漏(けつろう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血崩(けつほう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血淋(けつりん)の病(やまひ)、或(あるひ)は血痔(けつぢ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血労(けつらう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血気(けつき)の病(やまひ)、或(あるひ)は血脱(けつだつ)の病(やまひ)、或(あるひ)は血痛(けつつう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血瘕(けつか)の病(やまひ)、或(あるひ)は血塊(けつかい)の病(やまひ)、或(あるひ)は血積(けつしやく)の病(やまひ)、或(あるひ)は血癖(けつへき)の病(やまひ)、或(あるひ)は血痰(けつたん)の病(やまひ)、或(あるひ)は血瘀(けつおう)の病(やまひ)、或(あるひ)は血滞(けつたい)の病(やまひ)

修製所　尾州丹羽郡中奈良村乾後藤源蔵

あらゆる病(やまひ)に効(こう)あり、必(かならず)我家(わがいへ)の薬(くすり)を用(もち)ひ給(たまふ)へし

後(うしろ)に続(つづき)あり世(よ)下(しも)を見(み)よ